

物質・材料研究機構におけるオープンサイエンス基盤の 開発と運用省力化の取り組み

2025年5月16日(金) 16:00~17:00

理化学研究所バイオリソース研究センター 森脇和郎ホール

田辺 浩介 先生

国立研究開発法人 物質・材料研究機構 技術開発・共用部門
材料データプラットフォーム データ基盤ユニット 主幹エンジニア

Hybrid

世話人：
遺伝子材料開発室 大波純一

要旨

理研では近年、業績登録システム RARS, 研究データ管理システム R2DMS, そして理研成果公開リポジトリが整備され, DX 推進のため研究データを保管して公開し, 物質・材料研究機構 (NIMS) が総本山に含まれる学術情報流通のエコシステムに乗せていく流れが構築されています。一方 NIMS では, 所属する研究者の研究成果のオープンアクセス・オープンサイエンスに役立てるため, 情報公開基盤である「Materials Data Repository」(<https://mdr.nims.go.jp>) と研究者総覧「SAMURAI」(<https://samurai.nims.go.jp>) の開発と運用が行われています。この講演では, NIMS のオープンサイエンス基盤の紹介と, そこで実施されている研究成果の登録業務の DX 化・省力化の取り組み, 特に論文や研究データの永続的識別子の活用について紹介します。

当セミナーは、学生、研究者、技術者を対象としたものです。理化学研究所以外からご参加の方は、所属する大学または研究機関が発行する身分証をご持参になり、守衛所にて入構証をお受け取りください。



Zoom 聴講可

オンラインで聴講をご希望の方は
下記あてに接続情報をお問合せください

お問合せ

バイオリソース研究センター
info-brc-seminar@ml.riken.jp